

第4回市民会議より

目標・行動指針（ミッションステートメント）事務局案について協議

- 事務局案
- 1 「固定的役割分担意識」や「無意識の偏見」に気づくきっかけを提供し続ける！
 - 2 10歳までの子どもをいつでも安心して預けられるサービスを増やす！

○ミッションの抽象度について

二つのミッションの抽象度は同じくらいのレベルのほうがよいのではないか

【市長回答】

具体的な施策展開を進める中で意識が変わることもあれば、意識を変える必要性の気づきから具体的な取組に発展することもある。意識づけや気づきを押し進める一方で、具体的な施策にチャレンジする、という考え方もあるのではないか。

○ミッション2について

／“いつでも” という表現について

基本は親と子の生活時間を大切にすることがまず大事。夜中まで保育園を開くというような話になると子どもの利益を損なうことになるのではないか。

／“サービス” という表現について

提供するの行政や企業、市民は“受け手”というイメージ。
もっと協働ミッションにふさわしい言葉に変更できないだろうか？

ミッションのフレーズについては、座長に一任

決定

地域と企業と行政が協働して

Mission 1

アンコンシャスバイアス
「**固定的役割分担意識**」や「**無意識の偏見**」に
気づくきっかけを提供し続ける！

Mission 2

**10歳までの子どもを安心して預けられる
環境を充実させる！**

この2つのミッションを掲げ、令和3年度まで市民会議事業を推進して参ります。
引き続きご参画のほどよろしくお願い申し上げます！